

感染症情報 4月22日～28日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,098例(堺市	126例)
②溶連菌感染症	778例(堺市	116例)
③RSウイルス感染症	585例(堺市	57例)
④手足口病	255例(堺市	34例)
⑤咽頭結膜熱	91例(堺市	1例)

府下304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 222例(堺市 17例)

報告数による順位。前週比1.3%減の2,944件であった。感染性胃腸炎が府下で前週比10%増、堺市で前週81例→今回126例。溶連菌感染症が府下で13%増、堺市で前週78例→今回116例は定点当たり6.11で大阪府下のワースト。RSウイルス感染症が府下で32%減、堺市で72例→57例であった。定点当たり大阪府は4.41→2.98、堺市で3.79→3.00であった。手足口病が府下で22%増、堺市で前週22例→今回34例であった。咽頭結膜熱が府下で17%増、堺市で前週3例→今回1例であった。

インフルエンザが府下で前週314例→今回222例で前週比29%減であった。堺市で前週18例→今回17例であった。定点当たり大阪府は1.03→0.73で1.0を下回り、非流行期に入った。堺市は0.62→0.59であった。

府下304医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 807例(堺市 96例)
大阪府定点 2.65 堺市定点 3.31

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
33	82	56	109	59	55	68	93	75	84	93	807

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週974例→今回807例は17%減、定点当たり3.20→2.65となった。堺市で前週82例→今回96例は17%増、定点当たり2.83→3.31となり、また大阪府のブロック別でワーストとなった。

麻疹や風疹の報告はなかった。